



はくい (HAKUI)

平成25年7月号(2013)

市議会だより

No.58

設置目的

- ① 市民に市議会の活動状況、情報を提供し、
- ② 市民との意思疎通手段を多重化しながら、
- ③ 市民の要望を市政に反映させるとともに、
- ④ 分権時代に向けた市議会の活性化を図る。

発行者／石川県羽咋市議会

編集者／市議会だより編集委員会

住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町A200番地

TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

CONTENTS

一般質問……………	2
各委員会報告……………	7
市民の声……………	8



改築中の羽咋中学校

平成25年第3回定例会の概要

平成25年第3回羽咋市議会定例会が6月3日から6月18日までの16日間開催された。提出された議案は、平成25年度羽咋市一般会計補正予算1億7,653万7千円など3件、報告12件の合計15件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、羽咋市都市計画マスタープラン、防災対策、羽咋中学校整備事業の進捗状況、羽咋運動公園野球場改修、企業誘致の状況等の諸施策に対する取り組みを説明した。

6月11日の質問日では、用途地域の規制の見

直し、斬新な発想、のと里山海道の経済効果、農業視察の受け入れ、羽咋中学校の現状、唐戸山の活用、小中学校の体罰、通学費負担解消、女性向けの広域観光、志賀原子力発電所断層調査など10人が質問に立った。最終日の採決では、平成25年度一般会計補正予算案など議案3件、報告9件を全会一致で原案どおり可決、請願5件のうち1件を採択し、議員提出議案として提出し、可決。また、残り3件を不採択、1件を継続審査とした。

また、るんるんバスについては、議会全員協議会を開催し、要望書を市長に提出した。



浅野 俊二 議員

子ども達に夢と希望を!! 教育長は頭がかたい



サッカーを楽しむ子ども達

羽咋中学校にサッカー部を創れ!!

【質問】世界で一番人口の多いスポーツは「サッカー」である。日本でもサッカー人気は高く、子どもの成長に有効である。市内に小学生を対象としたクラブチームもあり、子ども達の健全育成に貢献しているし、自分達の夢や目標に向かって努力している。しかし、羽咋中学校にはないため、他競技への選択しかなく夢や目標が絶たれている。続けるため家族全員が転出した例もある。練習場は市営野球場で可能であり、指導者は教員や民間人の協力で可能であり、荒れている学校を救う一助にもなり、ぜひサッカー部の創設を強く要望する。

【教育長答弁】数回サッカー部の創設の要望もあり検討したが、広い土地や指導者の確保が必要になることや生徒数の減少しているなか、休部など

もある。部活動は学校の教育活動の一環で学校長の管理運営事項でもあり、現段階ではサッカー部は困難である。

【再質問】場所がないと言うのは詭弁だ。やる気がないのではないか。人事権を持っているし、民間人の協力も可能ではないか。

【教育長答弁】学校の部活動はできるだけ敷地内に行われるのが原則。生徒数も減少している。

【再々質問】もう少し柔軟に対応できないのか。これではなにも進まない。署名活動も必要である。

【教育長答弁】今サッカー部を創ると他の部に影響するので困難である。

その他の質問

①公立羽咋病院の看護師、薬剤師不足



大塚 幸男 議員

「手のない将棋は負け将棋」 次の一手を決断!



千里浜インター周辺

交流拠点施設の整備方針

【質問】世界農業遺産認定や、のと里山海道の無料化など、フォローの風が吹いている時、能登各地は交流人口の増加策に知恵を出し、英断をもって実行している。手をこまねいては通過型観光にさらに拍車をかけることになる。千里浜インター周辺の魅力付けが不可欠であり、道の駅構想も含め、既存の公共施設や民間企業とのタイアップも視野に入れ検討せよ。また、カジノ特区構想など発想の転換による斬新な地域活性化策が必要。

【答弁】千里浜インター周辺は本市の玄関口であり、観光情報の発信や交流の拠点である。先に実施した可能性調査を踏まえ、道の駅など交流拠点施設の整備について、具体的検討を進めたい。

県外からの移住者受け入れ

【質問】団塊の世代間で、退職後の移住に関心が高まっている。巨大地震被災リスクを避けるために西日本への移住を考える人もおり、新幹線金沢開業も追い風になる。本腰を入れるべき。

また、大都市圏の高齢者増加により、高齢者の地方での受け入れ体制が検討されている。他に先がけて研究すべき。

【答弁】県の進める「いしかわ暮らし」検討会議の提言を踏まえ具体策を検討したい。健康な高齢者の移住先になるよう介護サービスの充実に努めたい。

その他の質問

①水道事業会計の決算見込みと経営見直し

②下水道事業会計の累積欠損金の見直しと対策



交流人口の拡大と 観光情報の発信を！

寺井 哲也 議員

のと里山海道の経済効果と フェイスブックの活用

【質問】のと里山海道が無料化となり、交通量も増えており連休中には渋滞のニュースも見られた。①ゴールデンウィーク期間中の入込客数はどうであったか。②経済効果について、どのように考えているのか。③観光を売り出す情報発信を今後どのように図るのか。④これまで緊急時のみの活用としていたフェイスブックを利用し、交流人口拡大に向けた情報発信を考えてはどうか。

【答弁】①期間中に実施したなぎさドライブウェイの車籍調査の結果は、約2万4,600台。平年ベースである平成23年と比較し約6,600台、率にして36.5%の増加である。②コスモایل羽咋、千里浜レストハウス、休暇村能登千里浜の4



のと里山海道

月、5月の入込客は、前年同月比で7,575人、率にして20%前後の増加である。このような点からも、無料化は一定の効果があったと考えており、いかにその効果を波及させていくかが今後の大きな課題である。③市や観光協会のホームページ及び冊子やパンフレットの内容の充実と、配布場所の増加を図っていきたい。また、今年度は新たにポケット版観光パンフレットの作成を予定している。④今後、フェイスブックを使って観光イベントや所管の催しなど情報提供を、直近のものから順次対応していきたい。

その他の質問

①教職員の人材育成について



自然栽培農法先端地として ブランド化を！

稲村 信成 議員

農林関係の行政視察受け入れ中止は何故？

【質問】神子原米の成功、木村氏の自然栽培塾、高野職員による全国での講演やテレビ等々での報道により、多くの行政視察が訪れた。羽咋市及び自然栽培農法の地とのPR効果は絶大であり、自然栽培農法の最先端地としてのブランド化の兆しがある。①視察受け入れ中止の理由は。②農林水産事業の拡大策は。③高野職員の積極的活用は。

【答弁】①人事異動による一時的休止で、7月に再開する。昨年は77団体約1,250名の視察を受け入れた。②農地を経営体に集積し、効率的な農業プランの作成を推進する等足腰の強い農業を進めたい。③高野職員は妙成寺五重塔の国宝化に傾注させる。



神子原地区 棚田オーナー

モンベル工場進出の補助金・優遇策は？

【質問】工場誘致における、市の財政補助額と課税特例措置の適用額、及び県の雇用拡大企業等への補助額はどれ位か。また、工場建設において、地元企業の採用を強く求めるべきである。

【答弁】市の条例補助金限度額は2億3,000万円。課税特例措置は、固定資産税の3年間免除、償却資産は3年間で約3/4減額。県では立地促進の補助金限度額は5億円。新工場建設に伴う補助金及び課税特例措置は未定。新工場建設における地元企業の参加については配慮を求める。

その他の質問

①るんるんバスの早急な対応を！



櫻井 英一 議員

羽咋中、邑知中の 現状と今後の対策を問う



生徒数減少が著しい邑知中学校

羽咋中学校の現状

【質問】 昨年、風紀の乱れが見られた羽咋中学校の現状はどうか。市民や保護者からは「新年度に入り2ヶ月が経過したが、学校からの情報が少なく、現在の生徒の様子はどうか、生徒指導はどうしているのか」等の声が上がっている。

【教育長答弁】 学校・生徒は全体的に落ちついた雰囲気である。生徒指導は厳しく温かい指導を念頭に置き、具体策を実践している。学校では、基本的に参観の希望があればいつでも受け入れている。また、羽咋中学校区の教育活性化懇談会を開催し、学校、家庭、地域の代表者が児童生徒の健全育成について率直に意見交換を行った。今後、地域の方々にも生徒の頑張っている様子が届けられるよう工夫を図りたいと考えている。

邑知中学校の単級化対策

【質問】 邑知中学校が単級化になるのは何年後か。単級化になると学校行事や部活動に大きな影響が出るのが予測される。単級化対策はこれまでどのように検討してきたか。また、今後どう取り組むのか。

【教育長答弁】 県は中学校1年生を35人学級としており、この条件で全学年が単級化になるのは最短で平成33年度見込みである。現在、邑知中学校の部活動数は7つである。今後も地域の皆様のご協力を得ることで対応できると考えている。現段階では、教育活性化懇談会を通じて邑知中学校の今後のあり方について協議していきたい。



新田 義昭 議員

世界農業遺産認定による 取り組みと整備



邑知潟大橋周辺

観光資源の整備を！

【質問】 本市では観光資源が多い中、①唐戸山相撲場は、日本最古の相撲場といわれ、2千年以上の伝統を守ってきた。砂像関連に予算がついた。横綱白鵬関の砂像の設置を。能登キリシマや紫陽花の植樹を。横綱を招待し、土俵入りの計画を。新たな伝説を。②新たな観光スポットとして邑知潟周辺を考える。もう少し桜を増植し、はくい桜ハーフマラソンや魚釣り大会の実施を聞く。③JR駅周辺の整備をすると聞くと、トイレの改修を望む市民の声が多い。市長の考えを聞く。

【答弁】 ①唐戸山相撲協会や地域の皆様と協力し、提案の砂像の設置、植樹・横綱の招待を参考にしながら、環境整備に努める。②邑知潟周辺を市民の散歩コースとして活用し、イベントの実施を検討し

てまいりたい。③JRは、改修の予定はないが、使いやすい施設として整備されるよう要望していく。

邑知の郷公園内に研修施設

【質問】 JAはくいと協働で自然栽培塾を実施してきた。国の補助を受け公園内で、農業研修施設等を計画中と聞く。市は公園内の使用許可に併せ、事業費の10%を支援するとともに、どのように事業を進めるのか。

【答弁】 邑知の郷公園を使用したいとの申し入れがあり、今後の運営計画等についても、積極的に協力していく考えである。

その他の質問

- ①羽咋市の表彰について
- ②新たな姉妹都市について



藤井 敬一 議員

邑知中学校の 単級化対策を早急に！



邑知中学校

学校通学区の見直しについて

【質問】羽咋中学校建設に伴い、邑知中学校への通学区の見直し論議がなされ、検討するとの答弁がされていた。現状はどのように進んでいるのかを問う。

また、邑知中の生徒の減少は大変なスピードで進んでいる。また、4月より隣町の中学に通学する生徒も出てきており、単級化も予測より早まるのではないかと。

【教育長答弁】羽咋中学校がこれまでの校区に基づき単級校として現在改築中であり、現時点での通学区の見直しは今のところ考えていない。

通学区の見直しは、非常に大きな問題であり、地域や保護者の方々のご理解を得る必要があり、教育活性化懇談会でご意見を伺いたいと考えている。

市内学校での体罰はどのようになっているのか。

【質問】全国各地は勿論、県内の学校でも生徒・児童への体罰が問題視されている、市内小中学校では体罰があるのかを聞く。また、県内でどれだけの体罰が行われているのかを問う。

【教育長答弁】本市においては、昨年度末、県教委が児童生徒、保護者、教職員を対象に実施した体罰に関する調査の結果から、体罰と認定される事案はなかった。今後とも校長会やいろんな研修会を通じて体罰禁止の徹底を図りたいと思っている。なお、県内での体罰教諭は、35人になっている。



塩谷 久司 議員

世界農業遺産認定後の 本市の取り組み



世界農業遺産

滝地区耕作放棄地対策のモデルケースは

【質問】世界農業遺産認定後の環境整備も含め、ほ場整備や野菜、果樹栽培などが考えられる。地元で近日中に対策推進協議会を設立し、今後の対策を検討していくが、最高の自然環境である当地域の農地再生について市の考えを尋ねる。

【答弁】農地再生について本市の取組みは、一般的にはほ場整備事業で地権者の同意など多くのハードルがある。今年度県のモデル事業で、景観作物の栽培や和牛放牧を行っている。耕作放棄地の農地再生は全国的な課題であり、今後、県や関係機関と情報共有を図り取り組んでいく。

【質問】自転車道路の整備をして北陸新幹線開業による移動ツールとして利活用し、交流人口の増加を図っては如何か。また、安全・安心面で高校

生の自転車通学や部活動の移動、多くの市民も利用しているが、治安上不安を持っており、街灯の設置などの考えは。

【答弁】北陸新幹線開業で羽咋駅への交流人口の増加が予想され、自転車利用の観光名所巡りが増大すると期待している。管理は県であり、安全・安心については県が樹木管理を行い安全確保に努めている。路面修繕や街灯については利用者が安全・安心に通行できるよう県に対して強く要望していく。

その他の質問

- ①義務教育の通学費用無料化（スクールバス利用可能地域の拡大など検討）



横山 高博 議員

観光振興策・地域活性化策 も知恵を出せ！



自転車道路

本市の交流人口・観光振興の具体策は？

【質問】 親子サイクリングツアーや、恋愛成就などをテーマにした女性を対象とする観光ルートの形成などはどうか。また、能越を横断する交流企画などは。

【答弁】 砂像を活用した地域活性化策や、道の駅など、にぎわいの核となる施設整備を検討している。また、自然や文化財を生かした滞在型滞留型観光の推進など、観光振興策について、関係団体との連携を図りながら取り組んでいくよう指示をしている。

企業との連携による地域活性化策は？

【質問】 進出している企業との連携による商工業の振興、地域農業の発展、特産品の販売は地域経済の発展に対し必要であると思うがどうか。また、地域資源を有効に活用するための条例や施策

を検討しているのか。

【答弁】 誘致企業であるモンベルの持つアウトドアイメージと千里浜などの恵まれた自然をアピールすることで一層の誘客が期待でき、企業進出の効果を企業連携という形で高めていきたい。市内の特産品は、ふるさと納税された方へ贈呈している。地域資源活用するための条例については、先進地を参考に今後検討していく。

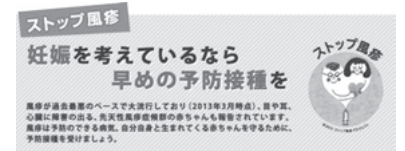
その他の質問

- ① るんるんバスの運行について
- ② 庁内運営について
- ③ 羽咋中学校関連について
- ④ 本市の農業施策と世界農業遺産国際会議について
- ⑤ 原発安全協定について



白田 秋也 議員

原発、今も 抜け切れない安全神話



風しん

防災計画・断層調査に対して県に物申せ

【質問】 今年5月の県議会で、原発防災計画と断層調査が議論になった。そこで県の防災計画は、風向きを考えず、しかも原子力規制委員会の放射性物質拡散シミュレーションすら考慮していないことが分かった。また、志賀原発直下のS-1断層は、すでに科学者会議から周辺の富来川南岸断層と福浦断層は活断層であり、地震時にはこれらと連動する活断層だと指摘されている。しかし、北電はこのことを全く無視して都合のよいデータを集め、先般規制委員会に活断層ではないと報告した。もっと真摯に、違う意見も考慮した調査をするように県に対し申し入れよ。

【答弁】 県の避難計画要綱は、原子力事故発生時の基本方針等を示したものの。計画の実行性が高まる

よう要望していく。また、原子力規制委員会は北電に対し周辺断層との関連性も調査するよう求めている。原子力規制委員会には、より科学的・技術的根拠に基づく厳格な安全評価が行われ、県においても独自に適正な評価がなされるよう要望する。

風しん感染拡大させるな

【質問】 風しんが急増している。患者の多くは25歳から33歳の男性だ。妊娠中の女性が風しんに罹ると胎児に心疾患や難聴の恐れあるといわれている。接種費用の助成で早く感染拡大を防げ。

【答弁】 現在、妊婦に風しんの現状とワクチン接種の情報提供しているが、助成は周辺自治体の動向を見ながら今後の検討課題としたい。

平成25年 第3回定例会

6月議会

◇平成25年度の一般会計補正予算をはじめ全議案を可決

平成25年度羽咋市一般会計補正予算(第1号)、羽咋市税条例の一部改正について、市道路線の認定についてを可決。報告9件を承認。請願については1件を採択、3件を不採択、1件を継続審査とした。議員提出議案では、教育予算の拡充を求める意見書の提出についてを全会一致で可決した。市長追加提出議案及び諮問の人事案件2件を原案同意・適任とした。

◇議員提出議案の審査結果

議案番号	件名	議決年月日	結果
議員提出議案第3号	教育予算の拡充を求める意見書の提出について	H25.6.18	原案可決

◇請願の審査結果

議案番号	件名	議決年月日	結果
請願第2号	教育予算の拡充を求める意見書提出方の請願	H25.6.18	採択
請願第3号	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書についての請願	H25.6.18	継続審査
請願第4号	「消費税増税の実施中止」の意見書提出を求める請願	H25.6.18	不採択
請願第5号	TPPへの参加に反対する請願	H25.6.18	不採択
請願第6号	年金2.5%削減中止を求める請願	H25.6.18	不採択

◇市長提出議案の審査結果

諮問議案番号	件名	議決年月日	結果
市長提出議案第43号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	H25.6.18	原案同意

◇市長提出諮問の審査結果

諮問番号	件名	議決年月日	結果
市長提出諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	H25.6.18	適任

総務文教常任委員会報告

◎塩谷 久司 ○稲村 信成 寺井 哲也 横山 高博
高田 甚哉 藤井 敬一 中村 孝清

当委員会に付託された案件は、議案第40号「平成25年度羽咋市一般会計補正予算(第1号)」中、当委員会所管分など議案2件及び報告4件並びに請願3件。これらの案件について、委員会を開催して詳細な説明を聴取し、慎重に審査を行った結果、議案2件及び報告4件につきましては、いずれも全会一致をもって原案のとおり可決または承認した。

請願3件については、請願第2号「教育予算の拡充を求める意見書提出方の請願」については、全会一致をもって原案のとおり採択すべきものと決した。請願第3号「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書についての請願」については、全会一致で継続審査とすべきものと決した。請願第4号「消費税増税の実施、中止の意見書提出を求める請願」については、全会一致で不採択とすべきものと決した。

審査過程での主な質疑・要望は以下のとおり。

【質問】ユーフォリア千里浜の浴場使用料を減額補正した理由は何か。

【答弁】施設の維持管理のための臨時休館や部分営業等が主な

要因であり、今後は満足度調査等を行い、利用者増に努めていきたい。

【質問】ごみ対策事業費を減額補正した理由は何か。

【答弁】町会と結んでいる市環境パートナーシップ協定件数の確定による補正であり、現在、全町会と協定を締結するための方策として、報告書等の簡素化を図っており、今後、未締結町会の減少に努めていきたい。

【質問】宝くじのコミュニティ助成事業について、現在の申し込み状況はどれくらいか。

【答弁】現在10町会からの申出があり、毎年4件を県へ申請しているが、例年2件が採択となっている。

付託案件以外のその他の事項では、当委員会の所管課の組織目標、指定ごみ袋の価格設定と目的、次回の国政選挙から始まるインターネット選挙などについての質問及び要望等があった。

産業厚生常任委員会報告

◎松生 喜代志 ○櫻井 英一 大塚 幸男 新田 義昭
中村 重幸 白田 秋也 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第40号「平成25年度羽咋市一般会計補正予算(第1号)」中、当委員会所管分など、議案2件、報告5件、請願2件。これらの案件について委員会を開催して説明を聴取し、慎重に審査を行った結果、議案2件及び報告5件についてはいずれも全会一致をもって原案のとおり可決、または承認した。

請願第5号「TPPへの参加に反対する請願」、第6号「年金2.5パーセント削減中止を求める請願」については、いずれも賛成少数をもって不採択とした。なお、陳情2件については聞き置いた。

審査過程での主な質疑・要望等は以下のとおり。

【質問】平成24年度末の国民健康保険基金残高及び介護保険給付費準備基金残高はどれだけか。

【答弁】国民健康保険基金残高は約4億800万円、介護保険給付費準備基金残高は約7,350万円である。

【質問】平成24年度一般会計補正予算において、予防接種費用及び健診費用の予算が減額補正されているが、前年度と比較して接種率及び健診率は減少しているのか。

【答弁】予算は減額しているが、接種率及び健診率は増加している。事業はしっかりと実施している。

【質問】今年度実施する砂まつり20周年記念事業の事業内容は、砂像の写真展、砂像のライトアップ、砂像制作の後継者育成であるとのことだが、今後、砂像を利用したイベントや付加価値を伴う事業を実施することを考えているのか。

【答弁】砂像は本市独自の重要な資源であると考えている。しかしながら、本市においては砂像製作者が少ないのが現状である。この課題を解決し大きな資源とするために、今年度は人材育成、後継者の養成として砂像サポーターを募集する予定である。来年度以降は、まち全体で取り組めるイベントを検討していきたい。

付託案件以外のその他の事項では、空き家対策に関する固定資産税の考え方について、保健福祉センター「羽咋すこやかセンター」の耐震工事について、風疹の予防接種助成についての質問及び要望等があった。

●●● 市民の声 ●●●

るんるんバス運行の見直しを

K.S (邑知地区・50代・女性)

私は、るんるんバスを利用したことがありませんが、利用者からの不満を聞きました。毎日の運行になったが、乗っている時間が長く「その時間が苦痛」だとか、「トイレに行きたくない」と聞いています。時間を聞くと、羽咋まで1時間以上かかるそうです。乗っているのは高齢者が多く、体に負担がかからないよう配慮してほしいと思います。せっかくあるバスですから、運行の見直しを議会で検討してください。

デマンドタクシーの導入を

E.N (千里浜町・40代・女性)

私がデマンドタクシーの単語を覚えたのはNHKの番組でした。その時は「こんな仕組みがあったらイイなー。車を手放すことができるかも」と眺めているだけでした。

それが市議会だよりに「デマンドタクシー」の文字が!! 羽咋市ではお題にすらして貰えないと思っておりましたので本当に嬉しかったです。

「デマンドタクシー」の潜在的な需要があることをどこかにとどめていてくれたらと筆をとりました。

新しい仕組みづくりは、なかなか抵抗がございしますが、心より応援しております。

羽咋市議会から市長へるんるんバスの運行等の改善について要望書を提出した

「るんるんバスの乗車時間が2時間と長すぎる」「トイレをがまんできない」など多くの市民からの声を受けて、特に老人など交通手段に困る交通弱者の市民が、短時間で快適に病院・ユーフォリアや買い物等が便利にできるよう、地域循環バス(るんるんバス)の運行ルート・時間等を一日も早く改善されるよう強く要望するとの要望書を平成25年6月11日の議会全員協議会で協議し、提出した。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対する感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局
☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は9月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

@インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページ

で映像配信(生中継)しています。また、録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

@アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成25年6月議会の会議録は、9月上旬に閲覧できる予定です。

編集後記

今議会の特色として、質問者10名中、6名の議員が教育問題について多岐にわたり質問を行った。主な質問内容は、羽咋中学校のサッカー部の創設、市内学校の体罰の有無、邑知中学校の単級化対策、教職員の人材育成、通学費用の無料化などであった。

また、4月より装いも新たに運賃無料となった地域循環バス(通称:るんるんバス)についても、好評と思いきや、利用客から多くの利便性についての要望があるため、4名の議員が当局に質問した。議会としては、一日も早い利便性を活かした改善を望みたい。

議会だよりも今回で58号を発行することになった。各議員が日々切磋琢磨し、市民の負託に応えるべき活動内容を、少ない紙面だが、今後もお知らせして行きたい。

(藤井 敬一)

議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	新田	義昭
副委員長	櫻井	英一
委員	寺井	哲也
	横山	高博
	藤井	敬一